



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2018

5月25日号

164
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

行く春 来る春



副会長 鈴木 雅 博

さわやかな季節を迎え、4月からの新生活にも慣れてきた頃でしょうか。

春は出会いと別れの季節と言われますが、当院でも年末・年明け・年度末と続けての退職があり、期待をしていた若手との別れには寂しい思いもあり（決して年配の方の退職は寂しくないという意味ではありません）、現場でも人数が減って大変な思いをしていますが、4月には出会い…新入職員を迎えました。新人技師の多くが技師会に入会し、この福放技ニュースが届くことに期待しています。また、新しい人材の採用活動としては、2021年4月の開学を目標に福島県立医科大学に新医療系学部（仮称：保健科学部）の設置準備が進められており、技師会としても積極的に支援していきたいと思っています。

そして、2018年度を迎えて、健康医療をとりまく環境は急速に変化し、進化を遂げているなか、いわゆる団塊の世代が75歳以上になる2025年以降を見据え、質が高く効率的な医療提供体制を構築していくために、6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改定が行われました。今後、地域包括ケアシステムの構築、医療と介護の連携強化や急性期から回復期、慢性期、在宅医療までの医療機能の分化・連携の推進、またICTの活用も含め、現場の負担軽減にもつながる、効率的な医療・介護の提供の推進などにさらに注力していくことになります。

今回の診療報酬改定では、日本診療放射線技師会から「効果的・機能的な医療の実現のためには、診療放射線技師がその専門機能を最大限に発揮することが重要なことから、必要な分野・領域において診療放射線技師の配置を充実させる等、体制強化につながる評価を拡充されたい。」との要望書が提出されていましたが、放射線領域、特に診療放射線技師に係る領域においては、あまり大きな変更はなかったかなという印象を今のところ受けています。診療放射線技師が、チーム医療における重要な役割を担っているとは思っていますが、今回の内容から社会での認知度が著しく低いという現状があることも悔しいが受け入れなくてはならないと痛感し、診療放射線技師が、診療報酬改定に大きく関与できるよう技師会としての活動を更に盛り上げて展開していきたいと思っています。

最後に、福放技ニュースが届くころには今年度の定期総会は終わっているかもしれませんが、今年度の総会は会津地区での開催となります。今年は、戊辰（会津）戦争終結から150周年を迎える節目の年で、会津若松市では、幕末を起点とした明治・大正・昭和・平成における会津の歴史的意義の再認識を図る重要な機会と捉え、様々な記念事業が開催されていますので、まずは会津へ来てみましょう！

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久 保 均

前は、新たに着任されました福田先生からご挨拶申し上げました。今回は、延び延びになっておりましたカリキュラムポリシーについて、ご説明いたします。

再掲しますが、カリキュラムポリシーとは「ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。」です。私どもは、現時点で以下のように定めています。

診療放射線科学科の卒業認定・学位授与の方針の趣旨を実現するため、次の教育課程編成・実施の方針を定める。

1. 診療放射線科学が含有する幅広い学問領域を学ぶため、人間、自然、文化を広く学び教養を身につけるための科目、及び理工学・情報工学・基礎医科学・臨床医学を深く理解し実践するための科目を開講する。
2. 診療放射線技師として自律的に行動できる能力を身につけるために、早期から診療放射線科学に関わる科目を開講しつつ年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく教育課程を組むことで、積み上げ型の知識・技術取得と学問知識・技術融合の相乗効果による質の高い教育を行うとともに、少人数でのグループ学修や能動的な学修機会を提供する。
3. 保健・医療・福祉に直接関わる診療放射線技師を育成するために、実体験に基づき知識、技術、態度を習得できるように学内、病院及び専門機関等での実践かつ専門的な演習や実習を行う科目を多く配置する。
4. 実験・実習や研究を通じて思考力や創造性を身につけ、医療技術の発展や放射線管理の進歩に貢献できる科目を開講する。
5. 福島の経験を基に、放射線災害や危機管理等で診療放射線技師が担うべき役割を模索し実行するに必要な科目を開講する。

これを実現するために、様々な授業科目等を用意します。具体的には、「教養教育（初年次科目、総合科学科目、総合教育科目）」と「専門教育（専門基礎科目、専門科目）」です。教養教育は、“これがあるから大学教育だ”となる重要な教育内容です。初年次教育科目は高等学校からの円滑な移行を図り、学修及び人格的な成長に向け、大学での学びに対する意欲や学修の仕方を修得するために設定され、「修学基礎セミナー」、「医療技術者入門セミナー」、「福島県セミナー」等の科目を予定しています。総合科学科目は、人文・社会科学、数学・統計学及び自然科学、体育学、および英語で構成されます。総合教育科目は、本学科の学生が他の3学科や他学部（医学部及び看護学部）の学生との間で密に連携を持ち専門職間での相互理解を深めるために設定され、我々の学部設立で医系総合大学となる本学ならではの教育を考えています。「チーム医療」、「コミュニケーション論」、「福島県の医療環境」、「医療統計学・同演習」、「研究方法論」などの科目を用意する予定です。

専門教育は専門基礎科目と専門科目で構成され、基本的には先生方が学んだ内容と同じ科目を設定します。ただ、知識だけでなく得ることができる技術は身につけさせたいと思っているので、実験・実習が多くなるかもしれません。皆さまが学生時代に経験した“レポート地獄（毎日毎日レポート提出日…(^ε;))”になるかもしれないですね…(-_-)遠い目……

これらの科目の履修順序は、以下のような考えで構築していきます。

人文・社会科学、自然科学等の教養教育科目を1年次から2年次にかけて開講する。併せて、1年次から専門基礎科目や診療放射線科学の専門科目及び臨床実習を開講し、年次進行に合わせて段階的に専門性を高めていく。

専門科目の履修順序は積み上げ型による効率良い学修機会を提供するため、医学、理工学及び放射線科学の基礎科目から専門科目へ順に配置する。また、臨床実習科目を、病院全体の機能を知ることから各専門領域の検査・治療技術を習得するまで段階的に配置することにより、放射線のことしか知らない近視眼的な診療放射線技師ではなく医療を大局的見地から見つめた上で診療放射線技師としての役割を理解し実践できる診療放射線技師を養成する。

放射線医療技術の進歩に伴って教育内容は必ず積み上げられますので、時代が進めば進むほど学ばなければならない内容は膨大に増えていきます。そのため、できる限り効率的に教育を行うことで優秀な人材を輩出していきたいと考えております。



(写真は、5月10日の新医療系学部建設予定地です。多くの重機が入って、作業が進んでいます。また、新聞報道によると隣接地一帯の再開発が計画されているそうです。本学部がコアになって、新たな福島駅前が整備されると良いですね。)

～会長 「オンレコ」～

1 「総務企画委員会」

執行部会及び各地区協議会委員長が集まり、来年度の事業計画や予算案を検討しました。厳しい財政ではありますが、無駄を省いて必要な事業は継続して行きたいと考えています。

2 「会計内部監査及び会計監査」

4月17日(火)に医大で会計内部監査を行い、20日(金)に福島市の会計事務所で会計監査を行いました。ご指摘を受けた事を改善してより良い収支バランスで活動を行います。監事、財務理事、事務局長、事務員の方には、大変お世話になりました。お礼申し上げます。

3 「ふたば医療センター附属病院の開院式」

県庁より4月1日の開院式への招待状が届きました。会長として出席して来ましたが、県知事、厚労省大臣、復興大臣を始め各町長、関係機関も大勢集まっていました。

原発事故後の復興には、医療機関の充実が大事だと思います。戻って来た住民が1番必要と訴えていた24時間対応の救急病院の開院で、復興が少しでも進む事を望みます。

なお、昨年12月には大原綜合病院の内覧式にも招待が

あり出席をしました。

4 「福島県立医科大学の新学部開校」の日程修正

昨年暮れの「オンレコ」で福島県立医科大学の新学部開校が2020年と記載しました。正しくは2021年4月開校予定です。訂正しお詫びいたします。

また、4月19日には、久保教授が来院されて新学部や臨床実習等について話し合いました。臨床実習は、福島市内の病院を中心に行う予定ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

5 「県外学術奨励補助金」の打ち切りについて

日放技学術大会、東北放射線医療技術学術大会で発表・座長・講演等に各助成金10000円を支給していました。現在では、数多くの方が県外でも発表を盛んに行い、当初の目的は達成出来たと考えて打ち切りを平成29年度第5回理事会で決定いたしました。

2020年の福島県開催には、技術学会と折半とはいえ大きな支出があります。財政的な余裕を得るためにも、今年度で打ち切りを行います。

なお、東北放射線医療技術学術大会では、今年度から東北地域技師会として学術奨励賞を新設しています。

地 区 だ よ り

会 津 地 区

平成30年度会津地区協議会全体会ならびに会津画像研究会 開催

4月28日(土)ホテルニューパレスにて行われました。会津画像研究会として、一般講演では「造影剤副作用対策～アナフィラキシーへの対応について」バイエル薬品株式会社 ラジオロジー事業部 安達 恭幸氏、「ITME2018 展示の報告～MRIの最新情報～」キャノンメディカルシステムズ株式会社 営業本部MRI営業部

山下 裕一氏より、ご講演いただきました。

アナフィラキシー症状は造影剤投与後5分以内に出ることが多く、その間は患者さんの注視が重要になります。投与後に患者さんの容態が変化し、アナフィラキシー症状を認めショック症状や収縮期血圧の場合には、有害事象が低く標準量とされるアドレナリン0.3mg(成人)を速やかに大腿前外側部へ筋肉内注射しなければなりません。また、過去に造影剤を使用しアレルギー症状が無かったとしても、アナフィラキシー発症の可能性はあるという事を認識しなければならないとご教示いただきました。

山下氏からは、3 T装置で培った高画質化技術を搭載した「1.5T MR Vantage Orian」やSNR向上再構成技術であるDLR (Deep Learning Reconstruction) の特徴と有用性についてご紹介いただきました。



(一般公演の様子)

続きまして、福島県立南会津病院 遠山 和幸氏、福島県立医科大学医療センター 泉田 健介氏より各施設の紹介がありました。

全体会は、全ての議案が無事に承認され終了いたしました。

また、その際に地区協議会の下記委員の選出ならびに承認がされました。

◎学術（マンモ専任）委員

旧 小林 瞳（竹田総合病院）

新 松野 佳子（竹田総合病院）

（理由）育児休暇のため

◎総務委員

旧 有松 忍（保健衛生協会 会津地区センター）

新 千葉 雄二（保健衛生協会 会津地区センター）

（理由）転勤のため

（板橋）

県 北 地 区

平成30年度 県北地区協議会全体会 開催

平成30年5月10日18時30分より平成30年度県北地区協議会全体会が福島医科大学附属病院 放射線部カンファランス室にて開催されました。

始めに池田正光副委員長の開会の辞、佐藤孝則委員長より挨拶があり、開催にあたり議長、役員選出が行われ、選出された資格審査員より全体会が定足数に達しており成立することが宣言されました。

議案は順にH29年度事業報告、決算報告、監査報告が行われ次にH30年度事業計画、予算案と原案通り承認され、佐藤佳晴副委員長の閉会の辞にて協議会が終了しました。



(協議会全体会の様子)

(安藤)

浜 通 地 区

平成30年度 浜通り地区協議会全体会 開催

平成30年4月21日(土)に平成30年度浜通り地区協議会全体会がいわき市立総合福祉センターにて行われました。

全体会の前に平成29年度浜通り地区学術研究発表会が開催されました。

前回と同様に、学術発表の経験を若手の技師にしてもらうための発表会なので、6つの演題が発表された後は活発な質疑応答があり、有意義な時間が経過しました。

続いて、浜通り地区協議会全体会が行われました。双葉地方でも新しい医療施設の運用が始まり、学術発表も震災前と同じく総会といっしょに行うように戻りまし

た。平成30年度も会員全体で協力し浜通り地区を盛り上げていけるよう頑張りたいです。

また花井委員長より、平成31年度県技師会総会が浜通り地区で行われる予定の報告があり、閉会しました。

来年の春は忙しくなるとおもいますが、いわき地区と相双地区で協力していきたいと思います。



(浜技師会学術発表会の様子)

(大井)

《おしらせ》

第16回
オートプシー・イメージング(Ai)学会学術総会
The 16th Annual Congress of Japan Society of Autopsy imaging

2018年(平成30年) 7月28日(土) 13:00 開場・受付開始
7月29日(日)

★ 開催場所: つくば国際会議場 大ホール
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-20-3
☎: 029-861-0001

★ 参加費: 一般 5000円(事前参加登録: 4000円)、学生 1000円

★ 情報交換会会場: オークラフロンティアホテル つくば

❖ オープニング講演: 大橋教良先生 帝京平成大学 健康科学研究科 教授
(元 筑波メディカルセンター病院 救命救急センター長)

❖ 特別講演: 今泉和彦先生 警察庁 科学警察研究所 生物第二研究室

❖ シンポジウム: Aiと各職種の関わり ~茨城県の輪~

大会長: 小林智哉 (筑波メディカルセンター病院 診療放射線技師)

実行委員長: 早川秀幸 (筑波剖検センター センター長)

第31回 福島県臨床画像研究会

MTG18-00181240

諸君 初志の候、先生方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、この度下記の要項にて「第31回福島県臨床画像研究会」を開催することとなりました。ご多忙中とは存じますが、是非ご出席願いますようお願い申し上げます。 謹白

一 記

日 時: 2018年6月2日(土) 15:00~

会 場: 聖隷総合病院 メグレスホール

〒963-8501 福島県郡山市内河町 159-7 Tel: 024-983-5511

会 費: 1,000円

※お車でいらっしゃる方は必ず駐車券を受け取ってください

I. 情報提供 15:00~15:15

『造影剤に関する最近の話題』

パイエル薬品株式会社

II. 一般演題 15:15~16:00 (15分×3施設)

座長 福島県立医科大学 放射線医学講座 准教授 石井 士郎 先生

① 『実効エネルギーを考慮した造影パラメータの検討』

福島県立医科大学附属病院 放射線部 伊藤 彩乃 先生

② 『当院における Revolution CT の使用経験』

聖隷総合病院 ○放射線科 主任 佐久間 守雄 先生

放射線科 統括部長 星 宏治 先生

③ 『SLE に合併した類もやもやの検討』

福島県立医科大学 放射線医学講座 増地 歩夢美 先生

III. シンポジウム 16:00~16:45

座長 福島県立医科大学附属病院 放射線部 佐藤 孝則 先生

『iQon スペクトラル CT—より早く、より確実な診断を目指して—』

株式会社フィリップス・ジャパン CT モダリティスペシャリスト 徳安 真一 先生

~ 休 憩 ~

IV. 特別講演 17:00~18:00

座長 福島県立医科大学 放射線医学講座 教授 伊藤 浩 先生

『縦隔腫瘍における画像診断の役割』

名古屋市立大学大学院医学研究科 放射線医学分野 准教授 小澤 良之 先生

尚、会終了後、情報交換会を予定しています

共催 / 福島県臨床画像研究会 (公社) 福島県診療放射線技師会 パイエル薬品株式会社

第39回福島県放射線治療技術研究会のお知らせ

平成30年6月2日(土) 14時より

寿泉堂総合病院 5階会議室

第1回福島県CTテクニカルセミナーのお知らせ

平成30年6月16日(土) 14時より

福島テルサ 3階「あぶくま」

診療放射線技師のためのフレッシュアップセミナーのお知らせ

平成30年6月17日(日) 9時20分より

太田綜合病院附属太田西ノ内病院

第16回東北MR技術研究会&第18回福島県MRI技術研究会の合同開催のお知らせ

平成30年7月21日(土) 10時30分より

コラッセふくしま 4階多目的ホール

※ 詳しくは、県ホームページで確認を!

編 集 後 記

財務担当での会計報告、会津担当での定時総会準備、放技ニュース5月号担当での……

ようやく暖かくなってきたかと思うと、また寒くなったりと…会員の皆様、体調管理に十分にお気をつけ下さい。間もなく梅雨も来ますし。爽やかな夏が来る事に大いに期待し、自由がほしい今日この頃です。 (山下)